

HITOTSUBASHI
UNIVERSITY
BUSINESS SCHOOL



一橋大学大学院経営管理研究科(一橋ビジネススクール)

金融戦略・経営財務プログラム

FS FINANCIAL
STRATEGY
PROGRAM



選ばれ続けるMBAの真実

なぜ時代が「金融戦略・経営財務に強いリーダー」を求めているのか

開設以来731人の修了生を輩出 なぜFSが選ばれ続けてきたのか？

一橋大学大学院 経営管理研究科(一橋ビジネススクール)金融戦略・経営財務プログラム(FS)は、ファイナンスに軸足を置いたMBAプログラムです。日本の金融の中心である東京・大手町や丸の内にはほど近い千代田キャンパスを拠点に、金融・ファイナンスの深い知識と広い視野を持ったビジネスリーダーの育成に取り組み、2000年のプログラム開設以来、2022年3月までに731人の修了生を輩出してきました。

今、時代は金融・ファイナンスに強いリーダーを求めています。グローバル化の進展、およびFinTech、ビッグデータ、人工知能、ブロックチェーンなどに代表される技術革新によって世の中が激しく変化する中、金融市場でのビジネスにおいても、事業会社の経営においても、今までのやり方だけでは先行きを見通せなくなっています。起きている社会現象や経済現象に振り回されるのではなく、論理的に事象の本質を分析し、より間違いのない意思決定をするためには、思考のパラダイムとそれに根ざしたグランド・フレームワークが必要。これらは金融・ファイナンスを学ぶことで得られるものなのです。

ファイナンスの思考モデルによって 経営の意思決定をする時代

一般的に、ファイナンスの専門性は、金融業界の専門家、あるいは企業の財務担当者など、特定の業務にのみ必要なものと認識されていることが少なくありません。し



かし、この考え方は正しくありません。

ファイナンスとは、今あるデータから、論理的に未来を予測するための学問です。ファイナンスの思考モデルを使えば、例えば、将来の市場サイズや将来に作る製品の価格、さらにそれらを踏まえて取るべき戦略などを、比較的正確に、確率付きで導き出すことができます。あるいは、企業がイノベーションによって潜在的なニーズを開拓しようというときに、市場がどのような順番で、どのようなスピードで形成されていくかも、論理的に根拠を持って予測することが可能になります。つまり、ファイナンスの知識は経営の意思決定と不可分なのです。

しかしながら、日本の企業では、経営と財務が分業化されており、それぞれの専門性しか有していないことが多い。そこで今、経営とファイナンスの両方に精通し、経営の意思決定に論理的な提案ができるCFO(最高財務責任者)の役割が極めて重要になっています。

スピード感のある意思決定には データサイエンスが不可欠に

ファイナンスの思考モデルによる将来予測を行うために必要となるのが、計量分析、いわゆるデータサイエンスの能力です。ビッグデータや人工知能が発達し、大量のデータを集め、必要な情報を引き出すことが可能になりましたが、これらのテクノロジーはあくまでツールに過ぎません。これらを使ったシステムチックな方法で、大量のデータを活用して、あるいは少ないデータから必要な情報を引き出して、経営の意思決定に結びつけるのがデータサイエンスです。

選ばれ続けるMBAの真実

従来は様々なマーケティングリサーチなどによって潜在的な市場から情報を集めて、それをもとに試行錯誤しながら意思決定を行っていました。しかし、企業間の競争が激しくなり、スピードが求められる中で、データサイエンスの重要度もまた急速に高まっています。

データサイエンスには、統計学など数理系の知識が求められますから、文系出身のビジネスパーソンが苦手とする分野。しかし、データをビジネスの意思決定に有効に活用しようとするなら、今や、避けて通ることはできないものといえるでしょう。

FSではファイナンスを自分の軸に 経営に精通した人材を育成

CFOに限らず、経営とファイナンスの両方に精通したビジネスパーソンは、今、確実に不足しており、引く手あまたの存在です。FSが育てようとしているのも、まさに金融・ファイナンスを自分の軸として、経営全般に関しても幅広く知識を身につけた人材。数ある一般的なMBAプログラムとFSとの違いはそこにあります。

カリキュラムは、MBAとして必要な人的資源管理、経営戦略などの科目を取り揃えた上で、金融・ファイナンスに関してはより深く学べるよう科目を編成。文献の読み込み、授業でのディスカッション、2年間をかけた修士論文の執筆を通して、ファイナンスの思考のパラダイム、グランド・フレームワークを徹底的に修得。全体を俯瞰的に捉える視点を養います。同時に、データサイエンスについて実務で使いこなせるよう徹底的に訓練するのも、FSの大きな特色といえます。

さらに金融・ファイナンスの最新動向をキャッチアップするため、FinTechに関する科目を多数設置。また、金融業界や企業経営の第一線で活躍する実務家をゲストスピーカーとして頻繁に招いています。

今こそ学び始めるとき 2年後には世界に選ばれるMBA人材に

FSには、今まで会社の中で得た経験・知識だけでは、今後の仕事やキャリアの先行きが不安と感じている方が、独学や会社の研修ではなかなか得られない考え方や知識を身につけたいという思いで集まっています。

違う業種への転職や起業を考えている人も少なくありません。例えば、IT系のエンジニアが金融・ファイナンスの専門性を身につけて、金融関係の新たなキャリアを考



えているケースなどです。起業する場合は、資金調達の方法などもFSでは学べますから。

金融業界で働く人も多数入学しています。高度な金融テクニックを用いて資産運用や金融商品開発に携わっていた人たちの業務は、今後、人工知能に置き換わっていくと見られており、この方々も金融と経営戦略を結びつける新たな専門性の獲得が必要となっているのです。

数理に弱い文系ビジネスパーソン、経営に疎い理系ビジネスパーソンはそろそろ脱却するべきときが来ています。今こそ学び始めてはいかがでしょう。2年後には、課題を論理的に分析し、解決する力が養われ、世界に選ばれるMBA人材となっているはずです。



一橋大学大学院
経営管理研究科 教授
プログラムディレクター

本多俊毅

金融戦略・経営財務プログラム 専任教員

FS FINANCIAL STRATEGY PROGRAM



研究分野：コーポレート・ファイナンス、実証分析

教授 **伊藤 彰敏** (いとう あきとし)
プロフィール
Ph.D. (Univ. of Western Ontario). 東京経済大学、国際大学、レジャイナ大学、筑波大学を経て現職。

メッセージ

研究も実務も、仮説を立てて検証し、また仮説を立てて……という作業の繰り返しだと思います。この作業を徹底的に突き詰めることで、新しい知識の地平が見えてくると思います。ファイナンスという窓口から知のフロンティアへ、みなさんとチャレンジしたいと思います。



研究分野：コーポレートファイナンス、コーポレートガバナンス、経営戦略

教授 **鈴木 健嗣** (すずき かつし)
プロフィール
博士 (商学・一橋大学)。東京理科大学、神戸大学を経て2015年現職。証券経済学会理事。

メッセージ

企業価値をいかにして向上させるのか。この問題を、コーポレートファイナンスのみならず経営学、会計学、経済学などさまざまな視点を取り入れ、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。



研究分野：計量ファイナンス

教授 **中村 信弘** (なかむら のぶひろ)
プロフィール
工学博士 (京都大学)。MTECを経て、2000年一橋大学大学院国際企業戦略研究科着任。

メッセージ

着任時より、計量系ファイナンスの講義を担当し、プライシング、リスク管理、投資戦略等のテーマを研究。現実の市場で実践しうる理論、モデル構築を目指しています。



研究分野：企業ダイナミクス、金融仲介、取引ネットワーク、債券市場

准教授 **宮川 大介** (みやかわ だいすけ)
プロフィール
Ph.D. (経済学・UCLA)。日本開発銀行 (現・日本政策投資銀行)、ハーバード大学、日本大学を経て現職。

メッセージ

企業行動・企業パフォーマンスと金融の関係を中心に、大規模データを用いた実証研究を行っています。本プログラムでは、経済学のロジックと計量経済学のツールを習得し、実務にとって有益なストーリーをデータから導くためのトレーニング機会を提供します。



研究分野：ファイナンス (証券投資、資産価格モデル)

教授 **本多 俊毅** (ほんだ としき)
プロフィール
1990年一橋大学卒、1992年修士課程修了。1997年スタンフォード大学Ph.D. 横浜国立大学経済学部を経て現職。元日本ファイナンス学会会長。

メッセージ

教育は自分への投資。しかし、投資できる時間や資金は限られているはず。老後に向けた貯蓄や証券投資も大事ですが、自分への投資の効率化はもっと大切です。このプログラムが皆さんの自分価値最大化につながることを期待しています。



研究分野：金融市場論、金融商品論、エナジーファイナンス

教授 **大橋 和彦** (おおはし かずひこ)
プロフィール
一橋大学経済学部卒業。MITスローン経営大学院博士課程修了、Ph.D. (経営学) 取得。日本銀行金融研究所顧問。元日本ファイナンス学会会長。

メッセージ

ここで得られるのは、ファイナンスを理解するための「軸」です。体系的な科目の履修と修論作成で鍛えられますが、それらを通じて皆さんが、将来のどのような状況にも対応できる自分自身の軸を手に入れられることを期待しています。



研究分野：金融リスク計量モデル、数理ファイナンス

教授 **中川 秀敏** (なかがわ ひでとし)
プロフィール
博士 (数理学・東京大学)。エムティービーインベストメントテクノロジー研究所 (MTEC)、東京工業大学を経て現職。

メッセージ

急速に高度化・複雑化する金融リスクのモデルや計量手法をキャッチアップできるように、本プログラムではリスク計量の基本はもちろん、最先端の話題も積極的に取り上げていきます。知的好奇心旺盛な社会人の皆さん、共に学びましょう！



研究分野：財務会計、企業価値評価

教授 **野間 幹晴** (のま みきはる)
プロフィール
博士 (商学・一橋大学)。04年より現職。10年～11年までコロンビア大学ビジネススクール・フルブライト研究員。

メッセージ

私の講義では、会計や企業価値評価についてケース・スタディを中心に進めます。企業サイドと投資家サイドの受講生が議論するので、企業と投資家の両方の視点を学習することができます。本プログラムでみなさまにお会いできることを楽しみにしています。



研究分野：データサイエンス、統計的データ解析、データベース論

准教授 **横内 大介** (よこうち だいすけ)
プロフィール
博士 (工学・慶應義塾大学)。慶應義塾大学理工学部数理科学科を経て現職。

メッセージ

私の主な研究テーマであるデータサイエンスは「データに語らせる」ための科学です。データサイエンスを駆使し、金融・財務データから新たな事実や知見を探索、発見したり、AIを開発してみませんか。

理論と実践のバランスが取れた質の高い最先端の授業

コーポレートファイナンス

CFOなど、企業戦略と財務戦略を融合させて戦略を組み立てることができる人材の育成を目指すFS。そのための中核をなす科目が「コーポレートファイナンスの基礎」「CFOと企業価値」「企業戦略論」など。これらの科目では、財務戦略が必要となる経営の局面をケーススタディとして取り上げ、経営、財務、金融などそれぞれバックグラウンドが異なる社会人学生が活発に議論をすることで、多角的な視点を得し、理解を深めていく。財務分析ツールなどの実践的な知見・スキルも数多く習得できる。



データサイエンス

計量分析を教育の軸とするFSにおいて、テクニカルな面での一つの柱となるのが、データサイエンス系の諸科目。該当する科目は、「データサイエンス概論」「金融データ分析」「コンピュータシミュレーション・ファイナンス」など。日進月歩で進化を続けるデータサイエンスの基礎から応用までを、一線級の研究者がビジネスの文脈に結びつけて解説する。これらの科目を通して、最新の理論を踏まえ、自分でプログラムを書くことができるレベルの知見・技術を体得し、個々の修士論文やビジネスの現場におけるデータ解析に活用していく。



できるレベルの知見・技術を体得し、個々の修士論文やビジネスの現場におけるデータ解析に活用していく。

企業価値創造

投資やM&Aの領域で、近年注目度が高まっている企業価値(EV: Enterprise Value)。このEVをいかに生み出していか、向上させていくかをテーマとした科目が、「グローバルM&A」「グローバル・リーダーシップ」「プライベート・エクイティと資本市場」など。自ら投資家として豊富な経験を持つ教員、企業経営者をはじめとする多彩なゲストスピーカーらが、企業が掲げるビジョン、リーダーのあり方などを講義。自社のEVI向上に貢献するリーダーシップを養うと同時に、投資家として企業を評価する視点を磨くこともできる。



FinTech

金融の領域における最もホットなテーマであるFinTechに関しては、2021年度は「FinTechと金融市場」「FinTechとイノベーション」を設置 (企業からの寄附講義を含む)。FinTechの技術的な原理から応用としてのビジネスまでを学ぶことができる。また、FinTechに取り組む企業や金融庁、弁護士など各方面からゲストスピーカーを招き、「今、何が起きているのか」「何が課題なのか」を生で解説。さらに海外の最新動向なども随時伝えていく。



実務家教員一覧 (2022年4月現在)

客員教授

幸田 博人
佐々木 清隆
知野 雅彦
土岐 大介

株式会社イノベーション・インテリジェンス研究所 代表取締役社長
元 金融庁総合政策局長
株式会社 KPMG FAS 代表取締役パートナー
BNP パリバ・アセットマネジメント株式会社 CEO・代表取締役社長

特任教授

福原 正大
藤田 勉

Institution for a Global Society 株式会社 代表取締役社長
シティグループ証券株式会社顧問

非常勤講師

青木 義充
安久 芳伸
石橋 善一郎
岩井 真希子
箴島 靖文
北野 利幸
菅谷 勇樹
鍋井 弘士
馬場 義徳
松田 雄馬

株式会社エフビズ 代表取締役
シティグループ証券株式会社 投資銀行統括本部 M&A 本部長
一般社団法人日本 CFO 協会 主任研究委員兼 FP&A プロジェクトリーダー及び東北大学大学院経済学研究科会計大学院教授
シティグループ証券株式会社 投資銀行部門 マネジングディレクター
SMBC 日興証券クオンツ部 部長
EY ストラテジー・アンド・コンサルティング(株) フィナンシャル・サービス・オフィス アソシエイト・パートナー
株式会社フィンデクス 取締役
株式会社 QUICK 法務室 部長
株式会社星野リゾート 海外事業部中国大陸開発ユニットディレクター 兼 中国大陸運営ユニットディレクター
株式会社オングガンツ 代表取締役

カリキュラム

本プログラムでは、ファイナンスの広範な分野をカバーし、目的に応じて選択できる科目が、基礎から応用まで提供されています。また、数学や統計学のバックグラウンドに不安のある学生は、「入門科目」を履修することで比較的短期間に知識を補うことができます。「基礎科目」「専門科目」ともに理論を深める科目と実践を学べる科目がバランスよく編成されていることも大きな特徴と言えます。知と実務の最先端に触れながら、未来のビジネスリーダーに求められる「自ら思考を体系化する力」を養います。

【科目履修について】

基礎科目 必須8単位(4科目) 以上	現代ファイナンスの多様な領域に共通した「知識ベース」や「フレームワーク」を修得します。統計学、アカウンティング、エコノミクス、コーポレートファイナンス、コンピューテーション、分析ツールなど各人のニーズに合わせて基礎力を固める科目があり、専門領域をより深く学習するための基礎を作ります。こうした基礎科目の履修を通じて、ファイナンスの思考法そのものを身につけていきます。修士課程1年次での履修を推奨しています。
専門科目	各人の実務上の課題や興味、目的に合わせて選択でき、その分野でさらに専門性を高めていくことができます。どの科目も、実務上のインプリケーションや成果を重視しています。また科目によっては、第一線の実務家の方に授業を担当していただいたり、著名な経営者・実務家をゲストスピーカーとして招聘したりしています。
入門科目 (希望者のみ)	数学や統計学のバックグラウンドに不安のある学生には、比較的短期間に知識を補うことができるように「入門科目」が用意されています。「金融数理入門」「線形モデル入門」「金融リスク計量入門」「時系列分析入門」「金融データリテラシーⅠ」「金融データリテラシーⅡ」「統計プログラミング入門」の7科目があります。

演習 (修士論文指導とゼミ) 必須8単位	在学期間(最短2年)を通じて、全ての学生が少人数制のゼミに参加します。ゼミでは学生が実務上の課題を選択し、ゼミ担当教員による懇切丁寧な指導のもと、修士論文作成に向けて、学習した知識を総動員して解決策を模索していきます。修士論文は、それ自体が大きな成果ですが、
----------------------------	---

【学期制度】

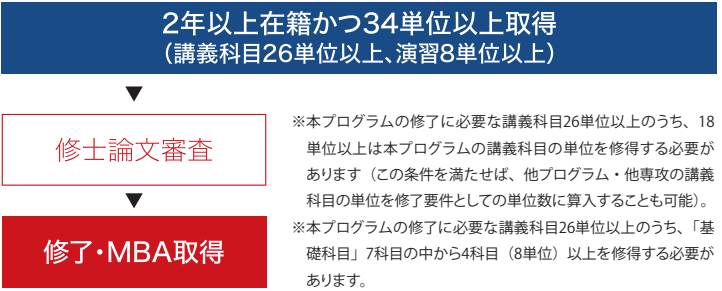
本プログラムは、年度を4つに分割する4学期制をとっています。

- 春学期(4月-5月)
- 夏学期(6月-7月)
- 秋学期(9月-10月)
- 冬学期(11月-1月)

【授業時間帯】

授業は平日、月曜日～金曜日の18時20分から2コマ設定されています。また、一部の科目は、土曜日に開講されることもあります。修業年数は2年ですが、仕事などの状況に合わせて半年単位で最大で修了時期を2年間延長することが可能です。

【修了要件】



【年間スケジュール】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
春学期授業		夏学期授業		夏期休業	秋学期授業		冬学期授業		春期休業		
【M1】入学式 【M1】チームビルディング		1単位科目試験		春・夏学期末試験 （集中講義）	1単位科目試験		【M2】修論プレ報告会		秋・冬学期末試験 【M2】学位論文提出	（集中講義） 【M2】学位授与式 優秀論文発表会	
※在籍2年超の場合、9月修了も可能。											

【2022年度修士課程 授業科目・担当教員一覧】

基礎科目 7科目	ファイナンス理論の基礎【2】	本多 俊毅	会計・バリエーションの基礎【2】	野間 幹晴・奈良 沙織
	ファイナンス理論【2】	大橋 和彦	コンピューテーショナル・ファイナンス【2】	上村 昌司
	金融データ分析の基礎【2】	横内 大介	金融数理の基礎【2】	中川 秀敏
	コーポレートファイナンスの基礎【2】	鈴木 健嗣		
入門科目 7科目	金融数理入門【1】	カ丸 佑紀	金融データリテラシーⅠ【1】	鍋井 弘士
	線形モデル入門【1】	青木 義充	金融データリテラシーⅡ【1】	鍋井 弘士
	金融リスク計量入門【1】	中川 秀敏・北野 利幸	統計プログラミング入門【1】	菅谷 勇樹
	時系列分析入門【1】	青木 義充		
専門科目 45科目	ポートフォリオ投資論【2】	本多 俊毅	国際財務管理【1】	伊藤 彰敏
	資産価格の実証分析【2】	祝迫 得夫	グローバル・リーダーシップ【2】	福原 正大
	金融経済学(情報とインセンティブ)【1】	大橋 和彦	金融機関の戦略的経営【1】	土岐 大介
	マネジリアル・エコノミクス【1】	宮川 大介	プライベート・エクイティと資本市場【2】	幸田 博人
	マネタリー・エコノミクス【1】	宮川 大介	プライベート・エクイティと課題【1】	幸田 博人
	企業戦略論【1】	松田 千恵子	グローバル金融規制と新たなリスクへの対応【2】	佐々木 清隆
	サービス経営のファイナンス【1】	馬場 義徳	社会システム工学【1】	松田 雄馬
	エナジー・ファイナンス【1】	大橋 和彦	人工知能概論【1】	松田 雄馬
	派生証券理論【2】	筈島 靖文	FinTechとイノベーションⅡ【1】	野間 幹晴・藤田 勉
	投資戦略論【2】	中村 信弘・東出 卓朗	企業倫理とESG【2】	梅津 光弘
	ファイナンシャル・リスク・マネジメント【2】	中川 秀敏	コーポレート・ファイナンスに関する諸問題【1】	鈴木 健嗣
	金融数理【2】	筈島 靖文	CFOと企業価値【1】	石橋 善一郎
	金融データ分析【2】	宮川 大介	グローバルM&A【1】	安久 芳伸・岩井 真希子
	ベイズ統計学(MCMC法)【1】	青木 義充	資産価格理論(博士課程科目)【1】	大橋 和彦
	データサイエンス概論【2】	横内 大介	コーポレート・ファイナンスの実証分析Ⅰ(博士課程科目)【1】	鈴木 健嗣
	金融データ分析：演習【2】	宮川 大介・山ノ内 健太	コーポレート・ファイナンスの実証分析Ⅱ(博士課程科目)【1】	伊藤 彰敏
	金融リスク計量における諸問題【1】	北野 利幸	M&Aと事業再生の実践Ⅰ(KPMG FAS 寄附講義)【1】	伊藤 彰敏・知野 雅彦
	統計科学の数理(推定手法・モデル選択)【1】	カ丸 佑紀	M&Aと事業再生の実践Ⅱ(KPMG FAS 寄附講義)【1】	鈴木 健嗣・知野 雅彦
	統計プログラミング【1】	菅谷 勇樹	FinTechと金融市場(フロンティア・マネジメント寄附講義)【2】	野間 幹晴・藤田 勉

※【 】は、単位数となります。

一橋大学の伝統「少人数ゼミ」は知的創造の場。 そこから始まる修了後のネットワークが大きな魅力

一橋大学大学院
経営管理研究科
教授

野間 幹晴



キーストン・パートナーズ
代表取締役

堤 智章氏

2007年9月修了

堤氏は三菱東京UFJ銀行でキャッシュフローファイナンスや証券化などに従事していた2005年にFSに入学。佐山・野間ゼミでメザニンファイナンスに関する修士論文を執筆した。2009年に企業再生ファンドのキーストン・パートナーズを設立。野間教授は同社の社外投資委員を務めている。

金融関係から事業会社まで 多様な人材が集まるゼミ

堤 ゼミでは2年間をかけて修士論文に取り組みました。FSのゼミでは、実際のマーケットのデータに基づくモデル式を導き出して、事象に対する検証を行うことが求められる。それを数理的にしっかり表現できないとダメだと野間先生からは徹底的に指導されました。

野間 現役のビジネスパーソンが現実に行っている課題を解決するために取り組むのがFSの修論です。計量的なアプローチを使い、客観性・論理性にこだわるからこそ、誰もが実際に使えるものになりますからね。

堤 担当教授以外から指導していただけるのもFSのいいところですね。数理系の先生からはデータの集め方や処理の仕方についてテクニカルなアドバイスを受けました。修論を通して、先生方との関係も深まりますし、同じ方向を向いて苦労を共にするのでゼミ仲間とのつながり

も強くなります。教え合い、刺激合う良い関係を築けました。

野間 FSには金融関係から事業会社まで多様な業種の方が集まり、まさに日本の金融市場の縮図といえます。一定の分野に精通している方が多く、みなさん問題意識が極めて鮮明。ゼミは5〜8人の少人数で、毎回濃密な議論が展開されます。こうした方々の現場の問題意識にアカデミクスの手法を当て嵌めると斬新な研究テーマも生まれやすい。他では得がたい知的創造の場といえるでしょう。

堤 私は、修了後の2007年に銀行を辞めて、キーストン・パートナーズを2009年に起業しました。企業再生ファンドは修論のテーマとも関連する事業。まさにFSで学んだ経験があればこそこのキャリアです。それは「人」に関しても言えることです。

FS修了生のネットワークを より強く、大きくしたい

野間 修了後も様々なかたちで教員やゼミ仲間、先輩・後輩の関係が続くのがFSの魅力です。私のゼミの修了生を堤さんの会社に採用してもらっていますし、私も社外投資委員として貴重な経験を積み重ねています。

堤 野間先生のゼミ生で私の後輩に当たる女

性が、「女性取締役がいる会社は株価が上がる」というテーマの論文を書いていて、これはおもしろい。そこで、研究内容を実践してもらうべく、彼女に当社の投資先の社外取締役に就任していただいたこともありました。

野間 修了生が1つのプロジェクトに異なる立場から携わることもあります。あるM&Aの案件では、関係者4名のうち、3名がFSの修了生ということがあったそうです。

堤 修了生同士は考え方や言語が共通していますから、交渉もしやすいでしょうね。

野間 その通りです。堤さんには、2014年に寄附講義の設置にもご尽力いただきましたね。

堤 FSに恩返ししたいという思いがありまし、優秀な人材の育成に協力するのは社会貢献でもありますから。

野間 2017年にOB会を立ち上げ、会長にも就任されました。

堤 糸井重里氏を招いて、家族同伴可の総会を開催して盛り上がりました(笑)。ハーバード大学では、修了生同士がネットワークを作り、金融の最先端の情報を共有して、金融業界に大きな影響を与えています。ゆくゆくはFS修了生のネットワークも、そのように強く、大きくしていきたいと考えています。

FS修了生のネットワークを広げる「ファイナンスクラブ」

ファイナンスクラブとは、FSの修了生とゲストが集うイベント。開催は年1〜2回。毎回、金融・ファイナンス分野をはじめとした各界で活躍するFS修了生の実務家や研究者

が講演者として招かれ、最新のトピックについて講演するとともに、参加者が幅広く意見交換をして、新たなネットワークを広げる場となっている。

最近の登壇者と講演テーマ例

- 日銀政策委員会審議委員 安達誠司氏（2014年3月修了）
「リフレーション政策の変遷と金融政策の現状・課題」
- 2000年入学の4名によるパネルディスカッション
東京理科大学 研究推進機構総合研究院 教授（客員）山下 隆氏
アセットマネジメント One 運用本部 運用本部担当常務 星野 元伸氏
みずほ証券 市場情報戦略部長 柴崎 健 氏
ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社 常務執行役員 岩崎 宏明氏
「コロナ後の資産運用業界について」
※役職はすべて講演時点のもの。

社会人学生の「学びやすさ」「多様性」にも配慮しています

授業は平日夜間に集中。 週末は家族と過ごしてください

社会人が働きながら通学できるよう、授業は原則として月〜金曜日の夜間に開講しています（1時限18:20〜20:05、2時限20:15〜22:00の2コマ）。一部の授業や集中講義は土曜日に開講されますが、基本的には平日夜間を中心とした通学で修了可能です。

土曜日・日曜日は予習・復習や修士論文の執筆などに充てることももちろん多いですが、時間を上手にマネジメントすれば、家族と過ごす時間も十分取れます。

学生41人に対して専任教員9人の 教えるプロが面倒を見ます

1学年の学生数が41人、専任教員が9人という少数精鋭の体制を取っており、教員と学生の距離が近いことが特徴です。

中でも教員と学生、あるいは学生同士のつながりを強めてくれるのがゼミです。ゼミの人数は1学年最大で6名程度。教員が一人ひとりの学生とじっくり向き合える少人数ゼミは、一橋大学の伝統でもあります。ゼミの担当教員だけでなく、すべての教員が学生をサポートします。

入学試験は「書類」と「面接」のみ

入学試験は、第1次試験が書類審査、その合格者を対象とした第2次試験が口述試験となっています。2次の口述試験は、出願時に提出した修士論文計画書に基づいて行われます。英語や専門科目などの筆記試験は課されないで、忙しい社会人でも、長期間の入試対策に時間を割かれることなくチャレンジすることが可能です。

なお、入試は9月末に出願受付をする秋期募集、年明け1月に出席受付をする冬期募集の年2回です。

修士論文を課している 理由があります

FSでは修士論文を必須としています。論文のテーマを念頭に置きながら授業に臨むことで、それぞれの授業の内容が自身の中で有機的に結び付き、実のある知識となります。同時に、2年間の知識を総動員して論文の作成に当たること、学んだ知識が実戦で使えるものとなるのです。

なお、例年3月に、40点ほどの修論の中から特に優秀な6点が選ばれ、在校生、修了生、学外の方々に向けてプレゼンを行う「優秀修士論文発表会」を開催しています。

数学や統計学に不安があっても 「入門科目」で短期間に知識を補えます

FSのカリキュラムは、MBA、ファイナンスの広範な分野をカバーし、目的に応じて選択できる科目が、基礎から応用まで提供されています。また、数学や統計学のバックグラウンドに不安のある学生は、「入門科目」を履修することで比較的短期間に知識を補うことができます。

用意されている入門科目は「金融数理入門」「線形モデル入門」「金融リスク計量入門」「時系列分析入門」など。基礎から着実に計量分析の力を養うことができます。

在学期間中、学期単位で2年間まで 休学することができます

企業等に勤務しながら通学する社会人学生の場合、長期の出張、異動、業務の都合等で一定の期間通学ができなくなる可能性があります。このようなケースに配慮し、FSでは休学制度を設けています。在学期間中、学期単位で最長2年まで休学することができ、休学期間は学費がかかりません（修了まで4年を要した場合も、2年で修了した場合と学費は変わりません）。

「いつ長期出張があるかわからない」といった懸念がある方も安心して受験してください。

なお、休学2年を含め在籍は最長6年まで可能です。

Q 金融の実務経験がないのですが

A 金融の実務経験はなくても問題ありません。金融に関連する仕事をされていて、より高度な専門性を修得する目的で志願してくる方は多くいらっしゃいますが、金融戦略・経営財務プログラムは、むしろ金融業に従事していない方が、ファイナンスの知識やそれを活かすデータサイエンスのスキルを学んでいただくことで、修了後に発揮できる力はより大きくなると考えています。詳しくは募集要項の出願資格をご確認ください。

Q 高校時代は数学が苦手でしたが大丈夫でしょうか

A 実際、数学が苦手な大学でもほとんど触れてこなかった方も多数入学しています。本プログラムでは、そのような方々のために、数理系の基礎を教える「入門科目」を設けているので、入学後に学べば大丈夫です。
入門科目では、数学そのものというより、“論理的に考えるためのツール”として数理を学ぶので、数学に苦手意識のある人でも無理なく習得できます。

Q 書類審査では何が問われますか

A 出願時には複数の書類の提出を求めますが、書類審査で重視するのは修士論文計画書です。
そこでまず確認するのがモチベーション。2年間、仕事と学業を両立できるだけの意欲が感じられるかどうかは大きなポイントです。もちろん研究したい内容についても審査しますので、この2つをわかりやすくまとめることを意識してください。

Q 口述試験では何が問われますか

A 口述試験では、修士論文計画書に記述された進学の実機と研究テーマについて、具体的にお伺いします。
本プログラムのカリキュラムと、ご本人の目的との適合性をきちんと見ることが目的です。口述試験の中で、語学力や専門知識を問うことはありません。
ですから、試験対策などは不要。大切なのは、日頃抱えている目的意識や問題意識です。

Q 入学から修了までどのくらいの授業料が必要ですか

A 2022年4月入学の学費は、入学金が**282,000円**、授業料が年額**642,960円**です。2年間で修了する場合の合計金額は、**1,567,920円**となります。
国立大学であるため、私立大学のMBAプログラム等と比較すると相対的に学費は安くなっています。

Q 給付金は使えますか

A 金融戦略・経営財務プログラムは厚生労働省が実施する専門実践教育訓練給付金の指定講座です。受給資格のある方が、入学の1か月以上前に最寄りのハローワークで手続きをし、2年間要件を満たし続ける事で最大1,010,072円が給付されます。受給資格の有無や詳細は管轄のハローワークでご確認ください。

Q 転勤や妊娠出産などに伴う休学制度はありますか

A 理由を問わず、休学できる制度があります。学期単位で申請し通算2年まで取得できます。

Q 入学後に仕事と大学院の時間のやり繰りができるか心配です

A 職場や家族に大学院に通学することをきちんと話し、理解を得ることが第一です。なお、先輩たちからは、「最初の半年はしんどいが、徐々にペースがつかめるようになりメリハリがつけられるようになります。本当に必要に迫られると、仕事も勉強ももっと効率化できるようになるので、結果として入学時に考えていたより勉強時間や家族で過ごす時間を作ることができました」「平日は早起きを心がけ時間配分を意識すると、意外と勉強に充てられる時間はあるものです。土日は午前・午後と4コマに分け、どこか1つは必ず家族や友人と過ごす時間を取り、勉強は学校の自習室や図書室で決めてバランスを取るようにしています」「仕事で緊急事態が起きた時は仕事に集中する。2〜3週間であれば大学院はあとからキャッチアップできます」などといった声が寄せられています。ぜひ参考にしてください。

学内施設紹介



学術総合センター5階にある図書室は、1万冊を超える図書と270種の雑誌を備えており、図書の貸出や閲覧、自習に利用できます。FSの修了生も当図書室で図書等の閲覧が可能です。



FSは学生同士が相談できるラウンジや、軽い運動が可能な施設を備えています。



鍵のかかるロッカーも併設しています。



毎年、入学年度の4月に新入生向けに実施しています。ゲームやエクササイズを通して、新入生がお互いの顔と名前を覚え、クラスメートとして打ち解け合うことができます。



閲覧可能な主なデータベース

- Bloomberg (Bloomberg L.P.)
- EIKON FOR STUDENTS WITH DATASTREAM (REFINITIV)
- INDB Funding Eye (アイ・エヌ情報センター)
- Morningstar Direct (イボットソン・アソシエーツ・ジャパン)
- QUICK FactSet Workstation (QUICK FACTSET)
- QUICK Workstation Astra Manager (QUICK)
- SPEEDA (UZABESE)
- レコフM & A データベース (レコフデータ)
- 日経バリューサーチ (日経メディアマーケティング)

※一部サービスは、入学後利用申し込みの必要有り。



一橋大学の同窓クラブ「如水会」の同窓会館として、1919年に建てられた洋風の会館。現在の会館は1982年に改築したもの。同窓会員の親睦を深める目的でつくられた如水会館は、現在は結婚式や宴会など、会員以外の方にも広く利用されています。

あなたは2年間で最大の成果を上げる。そして選ばれるMBA人材となる。

イベント案内

2022年 6月 8日(水)	第1回入試説明会
2022年 7月 27日(水)	第2回入試説明会
2022年 8月 25日(木)	第3回入試説明会

※オンライン開催を予定しています。詳細はホームページなどでご確認ください。

2023年度入学試験スケジュール

秋期募集

出願期間	: 2022年 9月26日(月)~10月4日(火)
第1次試験合格者発表	: 2022年10月27日(木)以降
第2次試験(口述)	: 2022年11月6日(日)
合格発表	: 2022年11月14日(月)

冬期募集

出願期間	: 2023年 1月4日(水)~1月13日(金)
第1次試験合格者発表	: 2023年 2月2日(木)以降
第2次試験(口述)	: 2023年 2月12日(日)
合格発表	: 2023年 2月20日(月)

募集人員 : 41名(秋期募集・冬期募集の合計)

出願資格 : 入学時点において企業・官公庁等で原則2年以上の実務経験を有していること。

入学検定料: 30,000円

学費 : 入学金/282,000円 授業料年額/642,960円

※第1次試験合格者には上記発表日に通知を郵送いたします。

※日程や金額など変更になる場合があります。最新情報はホームページなどでご確認ください。

本プログラムに関する詳しい情報については、ホームページをご覧ください。

<http://www.fs.hub.hit-u.ac.jp/>

交通アクセス



● 東京メトロ半蔵門線、
● 都営地下鉄三田線・● 新宿線
神保町駅 A8出口・A9出口より徒歩4分
● 東京メトロ東西線
竹橋駅 1b出口より徒歩4分



一橋大学大学院 経営管理研究科
金融戦略・経営財務プログラム(MBA)

〒101-8439

東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター内

お問い合わせ

電話: 03-4212-3000

E-mail: chiyoda-info@hub.hit-u.ac.jp